

何ができるようになるか

目標 探究型学習を通して地域社会と関わり、ふるさとの良さを実感する。その過程で得た新たな発見や問いを探究し共有することで、新たなものの見方・考え方を身につける。

他者と協働することができる。

何事にも主体的に取り組むことができる。

育成したい資質・能力

様々な事象を総合的に判断して思考することができる。

「ふるさと」について知り、魅力を発信することができる。

地域の未来を担う人材を育成するための探究型学習

何を学ぶのか

<主な取組>

- 地域で活躍されている方の講演会（1年次）
県内で活躍されている企業の方に講演をしていただき、自己の在り方について考える。
- 県内企業説明会
地元企業の魅力を知る。
- ふるさとPRグランプリ
自分のふるさとについてフィールドワーク等の実地調査を行い、その魅力を他人に発信するとともに、新たなふるさとの魅力を創造する。
- 高大連携事業（1・2年次）
大学の講義を実際に受けることによって、学問的見地から地域で活躍する人材を育成する。
- 課題研究
自分が興味関心を有している分野のテーマを設定し、よりよい自己や社会のあり方について考える。地域でのフィールドワークや実験等を通して、課題の解決策を模索する。
- 人生の達人セミナー（全学年）
長崎県内外で活躍されている方を講師として招き、自らの経験を話していただき、人生観や倫理観、職業観の醸成に寄与する。

どのように学ぶのか

- 外部連携機関**
- ・佐世保市役所
 - ・長崎県立大学
 - ・長崎総合科学大学
 - ・長崎国際大学
 - ・マゴオリ
 - ・古賀広告美術社
 - ・Skiコーポレーション
 - ・オーシャンソリューションテクノロジー
 - ・佐世保観光コンベンション協会

- 長崎県立佐世保南高等学校**
- ＜校内推進体制＞
- 委員長： 校長
副委員長： 教頭
ふるさと教育プロジェクトチーム
- ＜成果指標＞
- (1) 将来、ふるさとの発展に貢献したいと考える。
(アンケート、目標値80%以上)
 - (2) 自己や社会のあり方について主体的に考える。
(アンケート、目標値80%以上)

